

研究テーマ	〔Ⅳ見方や感じ方を広げ、深めること〕 形のおもしろさに気づき、形の特徴をとらえて表現活動するための支援の工夫 —— 小学校1年「みつけたみつけた、かげっておもしろいよ！」の実践を通して
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

東海村立白方小学校 教諭 佐川 起代美

1 研究テーマについて

1年生の児童は小学校に入学して初めて出会うものが多く、「先生、見て見て、これおもしろいよ！」とか「先生、こっちに来て、すごいものがあるよ！」などと声をかけられることが日常茶飯事である。児童たちはいろいろなものを見つけては興味をもち、自分がおもしろい、すごいと思ったことを誰かに教えて認めてもらおうとする。しかし、その子にとっておもしろい物、すごい物に見えても、実際に見てみるとそうではないときもあるが、子どもの目のつけどころに驚かされるときがある。回りにある物をどのように見るか・どのように思うかは、図工での鑑賞の活動のための基礎となる物であると思う。そして、おもしろいことや物を見つけた後にそれを表現につなげていくことは、特別なことではなく、普段の図工の授業で行っていることである。絵画での表現では、自分なりの観点でいろいろな物を見ておもしろさや美しさを感じ、自分が表現したい対象を見つけている。立体での表現でいろいろな材料を使う場合は、材料のおもしろさなどに気づき、それを使って組み合わせたりして使っている。表現するために、まわりにある素材の中から使うものを選ぶ時にいろいろな物のおもしろさや美しさを見つけれることがとても重要であるので、楽しく見つけ、考え、気づくことができるようにしたい。そこで、鑑賞をメインにして独立して行う授業ではなく、表現と関連づけて鑑賞を行える授業を「形のおもしろさに気づき、形の特徴をとらえて表現活動するための支援の工夫」というテーマで実践研究をすることにした。

2 実践例

(1) 題材 みつけたみつけた、かげっておもしろいよ！

(2) 目標

関心・意欲・態度	影を写し取ることに興味をもち、自分の好きな形を探すことを楽しもうとしている。
発想や構想の能力	写し取った影の形から発想して思いついたことを工夫して絵に表すことができる。
創造的な技能	影の形の特徴をよく見て、形や組み合わせ方を工夫して写し取り、自分がかきたい絵をかくことができる。
鑑賞の能力	いろいろな物の影を見て、影の形のおもしろさを見つけることができる。

(3) 指導にあたって

本題材は、B鑑賞の領域で、表現と関連づけながら楽しんで鑑賞できる内容のものである。来年度から使用する予定の1・2上教科書に載っている「かげをうつして」という題材で、晴れの日の校庭で日常見慣れている影を画用紙に写し取り、その形のおもしろさを見つけて活動させるものである。いつも何気なく見ている影ではあるが、画用紙に写してみると地面に写っている時より形のおもしろさを見つめることができる。実物の形が、太陽の光の当たる角度などでいろいろな形の影に写り、そのアウトラインをペンやクレヨン、

鉛筆でなぞるだけなので、技能面でまだ幼い1年生でも十分に楽しんで活動できる。その活動の中で、鑑賞の能力の高い児童は影のおもしろさをどんどん見つけ、形のおもしろさだけでなく組み合わせ方を工夫するおもしろさも見つけていけると思われる。そして、そこから何かを発想して模様にしたり絵画にしたたりすることもでき、発展性があるのでおもしろい題材である。

そこで、児童たちが興味をもちどのように活動するかがよく分かるようにするために支援のしかたを工夫した授業を組み立ててみた。まず、児童が影への興味・関心がわくように「いったいなんでしょう？」クイズを行う。このクイズは、いろいろな物の影を写した線から何を写したのかを当てさせ、影の形のおもしろさを感じさせたい。その際、実際に学校でできそうな影で児童たちが写すかもしれない影は、あまり使わないようにしたい。次に、いろいろな影を探せるように、「かげかげたんけんたい」として学校の校庭に影を見つげに行かせ、校庭のいろいろなところにどんな影ができるかを探し、A4サイズの白い紙にクレヨンなどで影をどんどん写させて次の活動に生かしたい。そして、自分が見つけた影の中から、自分が気に入った形の影を組み合わせ、そこから発想して色をつけるなどして表現活動を行う。1年生の児童が校庭のいろいろなところに行くので、安全面などを考えてT・Tでの指導ができるようにして活動できるようにしたい。

(4) 学習計画および評価計画 (2時間取り扱い 本時は第1時)

次	時	学 習 計 画	評価計画			
			関	発	創	鑑
1	1	校庭などでいろいろな影を見つけて紙に写し取り、どこでどんな影を見つけたかを発表し合う。	○			◎
2	1	見つけた影からおもしろいと思う影を選んで画用紙に写し取り、それを生かして好きな絵をかき、友達と見せ合う。		◎	○	○

(5) 本時の指導

① 目標

校庭などでいろいろな影を見つけて写し取り、影の形のおもしろさを見つけることができる。

(関心・意欲・態度、鑑賞の能力)

② 準備・資料

画用紙、クレヨン、油性ペン、鉛筆

③ 展開

学習活動・内容	支援 (○) と評価 (■)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いろいろなかげをうつしとり、おもしろいかたちのかげを見つけよう。</p> </div> <p>(1) 「いったいなんでしょう？」クイズをする。</p> <p>(2) 影の写し方を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・影の線をなぞる。 ・好きな色を使う。 ・ずれないように紙を押さえてかく。 	<p>○ いろいろな物の影の形を当てる「いったい何でしょう」というクイズをし、本時の活動への意欲を高める。</p> <p>○ クイズの問題には、児童のまわりにある物の中からおもしろい形の影や影の写し方で実物が想像できないような影を紙に写した物を用意する。</p> <p>○ 影の写し方を理解させるために、実際に児童の目の前で影を写して見せる。</p>

<p>2 いろいろな影を探して、紙に写す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭で遊具の影を写す。 (ブランコ、ジャングルジム、鉄棒雲梯、滑り台) ・校庭や教室前の芝生で木や植物の影を写す。 ・校庭でバックネットやフェンスの影を写す。 ・校庭に落ちている物の影を写す。 ・教室前の芝生で教室にある物の影を写す。 <p>3 教室に戻り、見つけた影を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこでどんな影を見つけたか。 ・おもしろいところはどこか。 ・友達が見つけた影でどこがおもしろいか。 <p>4 本時のまとめをし、次時の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外に出かけるので、安全面を考えて活動できるように約束を決めて確認する。 ○ 探検バックに影を写す紙を何枚か入れ、クレヨンやペンを持って出かけるようにさせる。 ○ 何の影を写したらいいか分からず活動できない児童がいたら、声をかけてアドバイスする。 ○ おもしろい形の影を見つけることができた児童を褒め、さらに意欲をもって活動することができるようにさせる。 ○ 見つけた影の中から、なるべく友達と違う影を選んで発表できるようにさせる。 ■ いろいろな影を写し取り、おもしろい形の影を見つけることができたか。(観察・作品) ○ 次時は、見つけた影の中から自分がおもしろいと思う影を写し取り、それを使って思いついた絵を描くことを知らせる。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(6) 児童の途中の作品

〈花壇の柵から〉



〈ブランコの鎖から〉



〈教室の鉢植えから〉





3 成果と課題

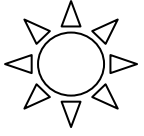
日常見慣れた影を紙に写すことから始まるこの題材は、今までにない発想で考えられていて、とても興味深く、どのように実践するかを考えることや実践の結果どのような作品ができるかがとても楽しみであった。ある児童は、花壇のハート型の柵に興味をもち、熱心に画用紙に写し取り始めた。「この形おもしろい！」と目を輝かせ、図画板を押さえている手をつらそうにしながら、細かいところまで根気よくペンで影をなぞっていた。その形から、何を発想するのだろうと観察していると、目のようなものを付け、回りにいろいろなものを描き加えていった。どうしてそれを描いたのかを聞くと「踊ってるみたいだったから。」と答えた。子どもの想像力はとても豊かである。



この題材では、身の回りの影の形がいろいろな形であることに気づき、写し取りながら鑑賞することができ、何を描くか構えずにできるので、いつもなら製作を始めるまでに時間がかかる児童でも取り組みやすくよかった。そして、影という変化自在のものを使うのでどの児童も自由な発想のおもしろい絵を描くことができた。また、鑑賞だけで独立して行う授業ではなく、表現へつなげていける内容だったので、言語表現がうまくいかない児童の鑑賞の能力を評価しやすいという点でもよかった。しかし、児童の面白い発想や構想での活動を教師が支援したり見取ったりして、児童の力を引き出し認めてあげられるような技量をもてるように研修していく必要がある。毎日多忙な仕事の中で、教師が感性を磨き、どのようにして力をつけていくかが課題として考えられると思う。

《児童の完成作品》





1の() (

)

おもしろいかげを見つけよう!

の かげ